



創立 1995年 10月 18日

継続は力なり！

2017～18年度 テーマ プロバスクラブの道に終わりなし 生涯現役でクラブライフを楽しもう

第 262 回例会

日 時：平成 29 年 8 月 10 日(木) 12:30～16:00

場 所：八王子エルシィ

出席者：55 名 出席率 85.9%

(会員総数 68 名 休会 4 名 欠席 9 名)

会食とハッピーコイン披露

山口三郎例会委員長の進行で会食に入り、馬場副会長からハッピーコイン 14 件の披露があった。

(5 ページに掲載)

1. 開 会 山口例会委員長

第 262 回例会開催を告げ、配付資料の確認。

2. 会 長 挨拶 武田会長

○ 黙 禱

去る 6 月 21 日、お亡くなりになりました、盟友、大高秀夫会員のご冥福をお祈りし、黙禱を捧げたいと思います。皆様ご起立をお願い致します。黙禱。

○ 挨 拶



皆様、毎日暑い日が続いております。今年は猛暑とのことですので。どうぞご自愛ください。またこの 1 ヶ月、集中豪雨、台風で全国的に被害が拡大しております。皆様のご親戚、ご関係先は如何でしたでしょうか。

今期は、先月の定期総会でご報告の通り、財政的に厳しい中での運用を迫られております。現在、理事会でその対応について検討をしておりますが、本日は皆様のご理解をいただくため、改めて幹事から当クラブ

の財政の現状を報告して頂きます。

さて、各委員会では、早速活動を開始しました。それぞれの担当業務について具体的な提案が出てきておりますので、発表して頂きます。

全国プロバス関連では、本年第 2 回東日本ブロック交流会が 11 月 28 日に、当クラブの主催で開催することが決定いたしました。前回同様、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

今月の卓話は白柳会員による「八王子海外交流都市の紹介」。当市とどのような関わりがある都市があるのか知りたいですね。

「Dr.肥沼の偉業を伝える会」には当クラブも支援団体として登録しておりますが、今後の連絡対応者として、引き続き岩島前会長をお願いすることにいたしました。よろしくお願い致します。

それでは、暫しクラブライフをお楽しみください。

3. パースデーカード贈呈

池田会員手作りのパースデーカードが武田会長より贈られました。おめでとうございます。



左より、八木、久野、竹内、宮崎の 4 会員 (佐々木正会員は休み)。

○今月の生誕 3 万日記念日(82 歳 1 ヶ月)の方は、佐々木正会員です (ちなみに、3 月は大串会員、7 月は濱野会員、高取会員、岩島会員でした)。

4. 卓話「八王子・海外交流都市の紹介」

白柳和義会員



八王子市は、市制 90 周年の記念事業として、^{たいあんし}泰安市(中国)、^{たかおし}高雄市(台湾)、^{しんぎんし}始興市(韓国)の3都市と交流協定を締結した。



泰安市は、山東省の中央に位置し、人口 550 万人、面積 7,762 km²の歴史と文化に溢れた都市(北京から新幹線で約 2 時間)である。ここにある泰山(1,545m)は中国「五岳」の一つ。この山は古くは秦の始皇帝が皇帝に即位したことを天に報告

した「^{ほうぜん}封禪の儀」を執り行った山で、以降多くの皇帝君主がこの儀式を執り行った。泰山の山頂までは、約 6 千段の階段が有るが、一般の観光客用にはロープウェイが有るので気軽に訪れることが出来る。また、市の中心部にある「^{たいびよう}岱廟」。ここには、中国三大故宮の一つ「^{てんきようてん}天貺殿」が有る。加えて、泰安市から南へ約 75km の曲阜市(孔子の故郷)には、三大故宮のもう一つ「^{たいせいてん}大成殿」が有り、半日観光が可能。

高雄市は、協定当時の人口は 150 万人、面積 154 km²であった。台湾の南西部に位置し、台北に次ぐ第二の都市。豊富な観光資源を有し、世界有数の貿易港が有る。親日的な都市で、毎年旧正月に行われる



ランタン祭りには、多くの観光客が訪れ、八王子観光協会主催のツアーも組まれている。代表的

な観光地は「蓮池潭」、旧英国領事館等が有り、おなじみの夜市もにぎやかである。

韓国始興市は、ソウルの南西約 30km に位置し、人口 42 万人、面積 133 km²で、韓国西海岸の都市である。ここでは、大規模産業団地計画が進み、中でも全長

12.7km の防潮堤に設けられた干満差を利用する世



界一の潮力発電は年間 552.7GW (川内原発: 650GW)の発電量である。観光資源は、エコパー

クや海岸沿いの貝焼き料理も魅力である。近隣の^{すうおんし}水原市の^{おわそん}華城城郭(世界遺産)へも近い。

5. 幹事報告

内山幹事



先月の総会で、新年度の予算をご承認いただきましたが、依然として、財政状況は厳しい条件下にあります。この状況をどう切り抜けていく方策があるのか、理事会においても意見交換

をしながら、対策を模索している状況です。従来の慣習に捉われない思い切った対策が必要な時期に来ていることは間違いないと判断しております。早急に対策を講じなければならないのですが、今しばらく時間をいただきたいと思ひます。

いずれ改定試案がまとも次第、会員の皆様方にご提示し、審議していただきたいと考えております。

6. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

山口委員長

本日は欠席者 9 名ということで、多かったですですが、全員の皆さんから、予めの連絡を頂いたので、食事の無駄が無くて済みました。今後とも欠席連絡は宜しく願ひします。

(2) 情報委員会

山崎委員長

「プロバスだより」261 号をお手元にお届けしました。今回の編集は前情報委員長の有泉さんが担当してくださいました。校正では、理事や情報委員会の皆さんがご協力下さり、ありがとうございました。

原稿の活字化・データ化を引き続きよろしく願ひします。

(3) 会員委員会

戸田委員長

新入会員の紹介をお願いいたします。ひとりでも多くの方に入会していただきたいと思ひますので宜しく願ひ致します。

(4) 研修委員会

竹元委員長

野外研修

○9月の例会の際にご案内して出欠をとり、10月の例会の際に会費を徴収したい。

○「八王子から学ぼう」ということで、市内にある

- ① B&S コーポレーション八王子研究開発センター（腸内環境を整える乳酸菌生成エキスなど研究開発。今年春に八王子に進出。日本で初めてヨーグルトを製造販売した老舗の会社）②リオンテクノ本社工場（注文補聴器製作）③日野オートプラザ(トラック・バス・飛行機エンジンなどの歴史博物館。ここで視察と昼食)④戸吹クリーンセンター（八王子市ごみ処理施設）を視察する予定

○午前9時 JR 八王子駅発で午後5時に JR 八王子駅解散の予定

○会費は4,000円を予定

卓話

○本日は、白柳さんからお話しいただきありがとうございました。

○来月は、井上さんから「元警視庁検視官の体験談」というタイトルでお話を伺う予定

○来年3月まで卓話者決定済み

(5) 地域奉仕委員会

永井委員長

生涯学習サロン、開講式・閉講式の特別講話の講師が決まりました。開講式は橋本五郎氏（読売新聞）をお願いしました。閉講式は竹元会員に皇室の話をしていただくことになりました。話し手をお願いしている方で、話の題名・概略を提出されていない方、早めに提出下さるようお願いいたします。

(6) 交流担当

全日本プロバスクラブ

立川副会長



○新潟プロバス再設立

創立23年を誇っておりました新潟プロバスクラブが昨年7月に解散いたしました。信越地区の要として信頼しておりましたが、クラブ内で意見が合わず

残念な結果になったのですが、今年になり元クラブの10名くらいで再設立の話が出まして、色々相談を受けやっとなりました。

7月18日新潟ANA・クラウン・ホテルにて、再設立の例会があり、全日本副会長である私と森山幹

事長でお祝いに参りました。立川龍雄会長のもと少数会員ですが、今年中に10名は増えるとかで、新潟4クラブの中心として活躍を期待いたしております。

○東日本プロバス第2回交流会の開催について

昨年9月に第1回の東日本ブロック交流会を開催し、多数のプロビアン参加を頂きました。他クラブからの多数の要請もあり、今年も開催いたしますが、副会長クラブであります当クラブがホストクラブとなり、先日準備会を発足いたしました。開催に当たりまして今後皆様に色々ご協力いただくことになると思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

浅川担当理事

当クラブの会則には、目的は人生経験を生かして地域社会に奉仕する、となっております。そのため



に私達はいろいろな地域活動に参加しておりますが、当クラブの生涯学習サロン、宇宙の学校は大きな柱となっております。私達はクラブの目的のために努力しておりますが、これ以上の

成果をあげるのには限度があります。しかし、もし私達のようなクラブがもう一つ出来れば、その成果は2倍になります、二つ出来れば、3倍になります。全日本プロバス協議会は各クラブの活性化を図りながら、一つでも多くのプロバスクラブを、全国に広めようとしております。しかし、5年や10年でできるものではありません。でも、プロバスの輪を広げようという気持ちを持ち続けることが出来れば、100年後には、全国にプロバスの旗が、元気にひるがえっているだろうと、私は信じています。11月に東日本ブロック交流会があります。皆様方のご協力をよろしく申し上げます。

(7) 宇宙の学校

寺田サブリーダー



皆様から宇宙の学校支援の会の支援金をいただき、ありがとうございました。宇宙の学校は現在夏休みですので家庭学習をしていただいています。

夏休み後、9月10日の教育センターからまた始まります。今後ご協力を宜しくお願い致します。

7. その他

ヴリーツェン市との「友好交流協定調印式」 に参加して 岩島前会長



7月10日に肥沼信次博士の眠るドイツ・ヴリーツェン市との友好交流協定を結ぶために、石森市長を団長とし、市側訪問団員7名、市民訪問団員7名、総勢14名の訪問

団の一員とし八王子プロバスクラブを代表して行ってまいりました。

市側訪問団は石森市長、伊藤市議会議長、大西議会事務局長、小浦市民活動推進部長他3名、市民訪問団は塚本回子「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」代表、塚本八王子学園理事長、ご遺族の松尾奈津子さん(博士の姪)とそのご家族2名、それに私とミュンヘン在住の私の娘(通訳の手伝い)であります。

どのような友好交流協定なのか、協定書を読ませていただきます。

「八王子市とヴリーツェン市は、肥沼信次博士が第二次世界大戦直後、多くの尊い人命を救った功績を長年にわたり語り継いでいくとともに、相互理解と友好親善を深めるために、友好交流協定を締結する。

両市は、互いの繁栄と発展を促進するため、文化、スポーツ、教育、観光等の分野において、友好交流を推進する。」というものであります。

調印式には、先方はウヴェ・ジーベルト市長、ヴォルフガング・スコール市議会議長他議員16名全員、教育関係者、歴史学者、肥沼基金財団、肥沼博士と共に医療に献身されて現在もご存命の看護婦ヨハンナ・フィートラーさん他市民10名であります。そして、ハンブルグでのサミットを終えたばかりの足で、八木毅在ドイツ日本国特命全権大使、岩間公使(広報文化班長)、佐久間書記官(広報担当)も出席されました。

調印式は市庁舎で行われ、引き続きレセプションが行われました。和やかなとても良い調印式とレセプションでした。八木大使の挨拶で「ヴリーツェンと八王子だけの交流ではなく、ドイツと日本の交流にしたい」という言葉があり大変心強く思いました。

なお、この夜の調印式に至る前、その日の午後には、肥沼博士の顕彰碑を訪ね、更に、博士の墓碑に

行き、献花を行ってまいりました。

肥沼博士と共に献身された看護婦ヨハンナ・フィートラーさんは今も頻りに墓参されておられるようですし、長年市長の職にあるジーベルト氏は大変肥沼博士を尊敬されており、先頭に立って墓参の行事を行っておられます。このジーベルト市長は十数年前にヴリーツェン市を日本人として初めて訪ねた桜美林大学教授川西重忠氏に、「川西先生、私は肥沼先生の無償の献身とも言える精神を非常に貴重なものだと思います、ヴリーツェンの市民には折に触れて伝えている。そして、肥沼先生のような日本人がいて、ヴリーツェンの人々を救ってくれたことを、非常に大切に思っている。私だけでなく、多くの市民が肥沼先生のことを立派な日本人として尊敬の念を抱いている。」と語り、「願わくば八王子市と提携関係を結びたい」との依頼をされたのです。この時を契機として、その後両市の民間のいろいろの交流を経て、八王子市としても市政百周年の記念事業として、今回の友好交流協定の調印に至ったのであります。



肥沼信次博士のお墓

8. プロバス讃歌斉唱

9. 閉会

馬場副会長



本日は、先ず会長・幹事から当クラブの財政上の課題について理事会で検討していることが報告されました。白柳会員の卓話では、八王子市の4つの海外友好都市について興味深い紹介があり、岩島会員からはその4番目のグリーンツェン市訪問の報告がありました。各委員会からは本年度の計画が具体的に動き出した状況が紹介され、更に今年度は2回目の東日本ブロック・プロバスクラブ交流会が11月28日に開催予定であることが報告されました。暑さ厳しき折ですが、9月例会にも皆様お元氣でご参集下さい。

ハッピーコイン

◆15年間少年矯正の講師を務め、先月法務大臣より感謝状を受けました。幸せです。 塩澤 迪夫

◆故大高会員の49日の法要も無事終わり、天国へ行ってしまいました。思い出ばかりですが、残された奥様は少しお元氣になられました。立川富美代

◆7月17日社会を明るくする運動に、シニア・ダンディーズがトップバッターとして出演、いちようホールの大ホールのステージを終えました。お客様のアンケートに平均年齢80才のコーラスが素晴らしく、元氣をもらったとたくさん書いてあったということでメンバー一同喜びました。 立川富美代

◆お先に…と天に登ったあの人に…見上げて握る夏草の茶碗 古川 純香

◆8回目の誕生日を迎え、皆様とご一緒に過ごせることを幸いにして感謝します。 宮崎 浩平

◆7月17日「社会を明るくする運動」いちようホールのステージでシニア・ダンディーズ出演、7月22日「吹奏楽フェスタ」オリンパスホールのステージで由井吹奏楽団出演、無事終了しました。

武田洋一郎

◆父のライフヒストリーをようやく本にして残すことができ、33回忌には講演会と出版祝賀会を開いて頂きました。命あることに感謝！ 橋本 鋼二

◆八王子郷土資料館にて「八王子空襲と戦時下の生活」の講師を13日2時から1時間努めます。

橋本 鋼二

◆廣瀬会員のお招きで、八王子平和展を見ました。昭和20年8月2日夜半の八王子大空襲で、母子で浅川べりを逃げ回った当時の記憶が生々しく蘇りました。平和こそ国の宝です。 杉山 友一

◆8月5日に85回目の誕生日を迎えました。2020年のオリンピックには米寿を迎える予定です。

竹内 賢治

◆気が付けばクラブ会員歴も10年目に突入。この間のご厚誼に感謝。併せて欠席多き不良会員なれど引き続き宜しくお願いいたします。 久野 久夫

◆昨日多摩プロバスクラブとの交流吟行会で高尾山に行きました。猛暑の中、精進料理を頂きながら、すばらしい句会ができ、しっかり交流を深める事が出来ました。

飯田富美子

◆昨日、我がPCと多摩PCの「俳句交流会」がありました。「高尾山吟行句会」です。60数年前に、中・高校生の頃に登った高尾山とは非常に様変わりした風景に驚きつつも「快適な吟行会」を楽しみました。

山形 忠顯

◆今月の末、タイ国へ8日間、旅に出ます。今回は「スコタイ」へ行く予定。

野口 浩平

寄稿

大相撲 八勝七敗の世界

杉山友一



大相撲は、今年も7月場所を終えて、早や9月場所の季節に入っている。私も時には両国の国技館に足を運ぶ大相撲ファンの一入だが、たとえテレビ機軸からでも相撲の勝負の世界は興味津々である。相撲はあくまで個人技で、その1秒2秒の瞬間こそが彼の人生の帰趨を決める格闘技、そのシリアスな一面が、歴史と伝統に育まれた様式美の演出と相俟って観戦者に感動を与えるのである。

相撲界では、序の口、序二段、三段目、幕下の者たちは力士養成員と呼ばれ、晴れて総髪大銀杏が結えて、後援筋から贈られた化粧まわしを付けて土俵入り出来るのは、28名の十両と42名の幕内を合

わせて 70 名程度である。十両の世界は、将来を見据えて出世街道を夢見る新進気鋭の力士たちと、不運にも幕内から陥落し来場所以降に捲土重来を期す力士たち、既に力士としての峠を越えて下山の風景の中で第二の人生を模索する力士たちと、三者三様の彩で構成されている。そんな十両の世界も、それはそれで禪一本の男の人生模様を照らして興味は尽きないものがあるが、今日は幕内力士の世界を数字（幕内通算成績・7 月場所終了時データ）で捉えて概観してみたい。幕内の番付は、上から、横綱・大関・関脇・小結・前頭と並ぶが、相撲協会の表看板の筆頭は何と云っても横綱であり、そこには歴然とした力の差が存在する。横綱は常に別格で、その通算勝率は、現役最高峰の白鵬に至っては 85% の高率で群を抜くが、日馬富士・稀勢の里・鶴竜の 3 横綱も、またその他の歴代横綱でも誰も 60% の通算勝率を切っていない。因みに、横綱になる確率は、純資産 100 万ドル以上（居住用不動産などを除く投資可能資産）を保有する富裕層と呼ばれる日本人の比率とほぼ一緒である。何の分野でも頂点とは稀有な存在であることの証明だろう。続く大関も、当然のことながら通算勝率 50% 以下でその地位に留まれた関取はいない。

さて、幕内全体の構図は、毎場所 10 勝以上を使命とする横綱、大関と、基本的には 8 勝 7 敗（勝率 53.3%）を分水嶺として、上位を目指して挑み続ける 30 名を超える前頭たちという構図になっている。関脇・小結の安定度、勝率は前頭と同じレベルなので、前頭上位 8 枚目までと合わせた結果でみると、半数が勝率 50% を越えているが残りの半数は勝率 50% に届かない。次に前頭 9 枚目から 16 枚目までの下位関取衆の成績をみると、何とも全員が通算勝率 50% に届いていない。関脇、小結、前頭の全勝敗数の合計でみると、6,313 勝対 8,648 敗で、勝率は 42.2% に留まっている。つまり、新進気鋭の関取数名を除くと、大多数の関取は常に上下動の激しいエレベーター力士たちであることがよく分かる。ときに、通算負け越しが大きい関取の中にも、次の場所をそこそこ勝ち越して、ちゃっかり幕内の安全地帯へ納まる要領のよいベテランの関取もいる。通算勝率 50% には届かないが長年幕内に居座る関取衆は、これはこれで価値ある勲章ものと言わねばならない。

そういえば、彼らのポジションは、興味深いことに年収 1,000 万円以上の上位サラリーマンの年収階層分布にほぼ一致する。大相撲社会は意外にも一般社会の競争原理を投影していると見ることもできる。

人生には青春、朱夏、白秋、玄冬と四つの季節が巡るとされるが、今や何とも長寿社会だ、長い人生の来し方、折り目節目を捉えて、自身の星取表に白黒つけてみるのも一興ではなかろうか。相撲界になぞらえれば、勝率 65% ならもう横綱クラス、50% 超えならそれも立派な役力士人生、一つや二つの負け越し程度なら、無事これ名馬の前頭人生とか。とは云え、お互いさま未だ最も大事な最後の終末場所が残っている、人間万事塞翁が馬、精々大相撲の激しいぶつかり合いを楽しみながら、何とか「終わり良ければすべてよし」と参りたい。 合掌

言葉の魅力・魔力～日々の感動～を味わおう

井上 克



言葉は人を勇気づけ、そして感動を味わう事ができる。その反面皮肉めいた言葉や声の抑揚で傷つけられることがある。誰しもそんな経験を多く持っていると思われる。言葉は生き物で

あり、時には勝手に独り歩きすることもある。子供の頃に聞いた先生の一言が宝物になり、その後の人生や行動規範を決定づけることがある。

幸いにして私は先生から良き言葉を頂き、その後現在に至るまで先生の言われたことを実践し現在に至っている。その良き言葉とその時の状況とはこうである。

中学の 1 年生の時である。担任の女の先生で、大学を卒業して先生になったばかりの新任であった。個々面接の時、先生から「克君は大変笑顔良しですね。相手方に良い印象を与えます。何時までもそれを忘れずにやって下さい」と。

「笑顔良し」この言葉が脳裏に刻み込まれ、苦しい時でも、落ち込んだ時でも鏡に向かい「笑顔良し」を造り、自らを鼓舞し、自らも感動させて切り抜けてきた。

警視庁警察官を拝命し仕事のほとんどを「鑑識課刑事」として奉職しました。

鑑識の仕事と言うと、犯罪現場で指紋や写真を撮るとのイメージがありますが、これは鑑識活動の一部でしかありません。私が担当した分野は、現場の観察すなわち殺人事件の現場で犯人の行動を推理し「どのような手段、方法で殺害し、殺害後の行動はどうであったか。死体の衣服の乱れ、テーブルの上の湯茶の接待の状況」等々を微に入り細にわたり観察し、最後はご遺体を警察署に運び検視を行います。検視は頭のとっぺんから足の爪先まで、ご遺体の傷や皮膚の変色を丹念に観察します。

時には天眼鏡で見ることもあります。検視結果は刑事課長、署長に報告し、引き続き大学の法医学教授の解剖に立ち合わせて頂き、「解剖立会い報告書」を作成して事件主管課に引き継ぎます。

警視庁本部の鑑識課に在籍した間は「笑顔良し」はすっかり萎んでしまい「気難しい顔」になっていたようです。殺人現場等で笑顔を見せながら事に当たるのは不謹慎となります。「日々の感動」もお預けとなりました。

鑑識課を出てからは「気難しい顔」も卒業し本来の自分に戻りました。これからは感動を求めて前へ進もうと。

そんなある日、妻と「相田みつを美術館」に足を運びました。相田みつを（大正13年～平成3年 享年63歳）は書家・文筆家であり独特の書体で言葉を書いています。「あなたの心がきれいだから なんでもきれいに 見えるんだな」「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」このような言葉が幾つも幾つも掲げられています。その中で私の心を打つ言葉がありました。「この言葉だ 私が好きなのは」と。その言葉とは、「感動とは感じて動く と書くんだな」。

「感動」へのスイッチは壮年頃までは常に「ON」の状態にあります。しかし壮年を過ぎると、意識しなければ、又は行動を起こさなければ「感動」を得る事が出来なくなります。退職後の日長な1日を一人でテレビを見ては、良き「感動」は得られません。外に出て皆と共に行動し、笑い、時として涙を流すことが「感動」する事の原点ではないでしょうか。日々心を高揚させ、「感動」を持ち続けることが、精神的にも、肉体的にも最良の方法であると。

元新潟大学大学院免疫学教授、安保徹先生が提唱

していることは、「人間免疫力を高めれば病気にならない。免疫力が高ければ、人間本来持ち備えている自然治癒力が働き、病気を寄せ付けない。ストレスが免疫力を阻害する一番の原因」と。ストレスをため込まないために何が一番か？毎日「感動」を求める生活に心掛けることではないでしょうか。

八王子には浅川があり、ミシュランのガイドブックで、最高評価で三ツ星を獲得した高尾山があり、自然に囲まれた諸々の散策、ハイキングコースが多々あります。妻と共に、気の置けない仲間と共に、思い出話などをしながら歩くことは、「感動」のスイッチを「ON」にすること間違いのないと思います。

そして今一つ「感動」を更に高めてくれるには「言葉」、それも「愛語」ではないかと思います。「愛語」この言葉は、「広辞苑」、「大辞林」には掲載されていません。曹洞宗の「修証義」の中にあります。「愛語」というのは、衆生を見るに、先ず慈愛の心を発し、顧愛の言葉を施すなり・・・と。

自らが「感動」するには、先ず相手方に「感動」して頂いた方が、共鳴、伝播の仕方が数倍も、数十倍も違ってくると思います。

私は日常生活の中で「3つの心得」を心掛けています。心得を常に頭の中に入れ実践することによって、相手の気持ちが和らぎそして笑顔が出てくれば、相手方も「感動」の入口に到達する事が出来ます。

「3つの心得」とは

- *いつも笑顔絶やさない
- *いつも愛語で接する
- *いつも有難うの心を忘れない

心得ですので、完璧に出来るとは思っておりません。それに近づけるように日々努力しようと思っています。笑顔で愛語を話し、有難うの気持ちを持ち続けることによって、「感動」を共有するベースが出来ると思います。頑張りたいと思います。

プロバスクラブは大変素敵な方々の集まりです。素敵な方々の素敵な心、振舞い等を見習い、頂き、自らを一步でも二歩でも前進させないと思っています。皆様今後とも宜しくお願い致します。

戦国の名城・滝山城

大澤敬之

八王子市制100周年記念「第34回全国都市緑化はちおうじフェア」北エリアのプレイベントとして、

「名城トーク・滝山城には魅力がいっぱい」と題し



たトークイベントが8月11日に開催されました。パネリストとして、石森孝志八王子市長、城オタクといわれる春風亭昇太師匠、中世城郭研究家の中田正光氏、ジェイコム八王子インタビ

ュアーのデレク・ウェスマン氏、地元加住の演歌歌手植松しのぶさんが参加されました。

滝山城跡は、本年4月6日「城の日」に公益財団法人日本城郭協会により「続日本100名城」に選定され、八王子市では、八王子城跡に続く、2か所目の選定となりました。この滝山城は、大永元年(1521年)に武蔵の守護代である大石定重が築城し、後に大石氏の養子になった小田原北条氏4代氏政の弟の氏照が拡張・改修したとされてきました。しかし、近年の研究により、北条氏照は、由井領を支配していた大石綱周の養子になり、浄福寺城(八王子市下恩方町)に居住し、その後、永禄10年(1567年)までに滝山城を築城して移転したと考えられてきています。

滝山城が築かれた加住丘陵は、東西に長く、北は多摩川に浸食された急峻な断崖、南は谷戸が入り組んだ複雑な地形になっています。こうした地形を利用した滝山城の特徴は、「二の丸の集中防御」であります。「二の丸」は、3つの尾根が集中していて、各々に馬出(出入口)を設け、「二の丸は敵に絶対入れさせない」という堅固な構えになっています。

この名城トークでは、滝山城跡に対する魅力について、各パネリストが話した後、フリートークが行われました。このフリートークでは、滝山城跡の史跡としての魅力を各パネリストが再認識するとともに史跡保存の重要性を訴えました。

この滝山城跡を地元で維持管理に当たっている滝山城跡文化協会も責任の重さを痛感したところであり、八王子市、都、国に対して、早急に発掘調査をお願いして行くことにしたいと考えています。

その後の第二部では、歌手の植松しのぶさんによるご当地ソングの「滝山城の春」、「松姫物語」、「八王子加住音頭」等が披露されました。松姫物語は、武田信玄の息女で武田家の姫達を守り、甲斐より武州八王子に逃れてきた一生を歌ったものであります。

現在、この松姫の物語をNHKの大河ドラマに推薦

しようとする運動が始まっています。これが実現すれば、八王子市を全国に知らしめる素晴らしいことだと考えております。

俳句同好会便り

私の一句～8月の吟行会から

河合 和郎

8月9日、台風一過の高尾山で、多摩・八王子PCの俳句同好会の合同吟行会が行われた。15名の参加を得て、作句に精進料理に句会にと、楽しく充実した交流吟行会であった。

女坂ゆるり登れば四葩咲く 馬場 征彦

猛暑の中、ゆっくりと歩を進める作者。山深い木立の中に、残り咲く紫陽花の花が出迎えてくれた。

炎昼に酌み交はず縁般若湯 渋谷 文雄

暑い一日の正に炎昼。御山の精進料理と冷酒にホッとしながら両クラブの交流の宴が賑やかに。

灯のともる螢袋や悲母の影 山形 忠顯

広島、長崎、終戦と悲惨な八月の記憶。72年を経てもなお、緑陰に咲く螢袋の花に遠い悲しみを見た。

天を衝く杉の木立や蟬時雨 矢島 一雄

高尾山に趣を添える鬱蒼とした千年杉。折しも行く夏を惜しんで、蟬時雨が降りしきるようであった。

緑陰を抜けてまた入る詣で道 池田ときえ

高尾の詣で道をたどる様子を「抜けてまた入る」とうまい表現。緑濃いお山を歩く臨場感がいい。

その羽根もて涼風起せ大天狗 田中 信昭

高尾を象徴する大天狗に注文。俳諧味に富んでいて、当日の暑さを「涼風起せ」と表現して秀。

杉木立緑陰たどり山門へ 飯田富美子

高尾山いえば杉の大樹。樹齢は7百年余とか。深山を思わせる雰囲気の中を山門へ。空気感がいい。

大見晴らし関八州は夏模様 河合 和郎

昔は大見晴らしから江ノ島まで遠望できたとか。雨上がりのこの日、スカイツリーは霧に隠れていた。

編集後記：丸3年の空白があって、久しぶりの編集作業は意外に手強いものでした。皆様のご協力のお陰で何とか完成。途中モンゴル行きが入り、期待通りその壮大な草原や星空が全てを忘れさせてくれました。 田中信昭